

平成21年度一般会計当初予算説明資料

5款 労働費

2項 職業訓練費

経済・雇用政策総室（内線：7223）→事業実施：雇用人材総室

1目 職業訓練総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
技能振興事業	2,792	946	1,846	1,373			1,419	
トータルコスト	3,054千円（前年度：946千円）							
従事する職員数	正職員：0.1人							
主な業務内容	補助金事務、技能祭実演団体との調整							

事業内容の説明

1 事業の概要

県民生活を支える技能士の知名度が低く正当な評価を得ていない現状を打開するため、技能士制度の知名度を向上させ、技能士の評価を高めるとともに、技能継承の促進を図る。

2 事業内容

（単位：千円）

事業内容	予算額	具体的内容と効果
技能士制度の広報【新規】	1,033	○テレビコマーシャルによる技能士制度の周知 ⇒技能士制度そのものについて、マスコミを活用して県民に浸透
技能祭の活性化	1,063	○技能祭会場に実演用のコーナーを設け技能士の優れた技術・技能を県民に直に紹介 ⇒技能を県民に紹介し、さらなる周知
身近な技能士の存在の周知【新規】	696	○県民に技能士が身近に存在していることを知ってもらうため、希望する事業所へ技能士ステッカーを交付 ⇒技能士の店における購買を促進
合 計	2,792	

効果

☆ 技能士への信頼と評価の高まり ☆

具体的施策

①技能士を知る (CATVでCM放送)

県内の6割の世帯が加入しているCATVを使い、「技能士」という制度そのものを広報する。

②技能士に直に触れる (技能祭活性化)

従来、展示即売、子ども向けものづくり教室が主な内容だったが、これに実演も加え技能士のもつ技能のレベルの高さを直に県民に訴える。

③身近な技能士を知る (技能士ステッカー)

希望する事業主に、事業所に「技能士」がいることを証するステッカーを無償配付。技能士がどこにいるか、県民に明示。交付先はHPでも紹介。

各技能士会が独自に行うPR事業へも補助（鳥取県技能振興推進事業）

対策の方針

技能士制度の知名度向上

技能士によって安心・安全な日常生活が支えられていることを県民に周知する

現状と課題

県産業の衰退

★県民は技能士を知らない
★技能を有する者が正当に評価されていない(だれが仕事しても同じ。安ければよい。)
(弊害の例①)アウトロー業者が参入しダンピング競争→優良企業の淘汰・品質低下＝業界の信頼低下
(弊害の例②)保有する技能への正当な評価が受けられず後継者の技能習得が進まない